



投稿日時: 2013年10月21日 投稿者: kurukurupress

[← 前へ](#) [次へ →](#)

編集

## 「多摩6都国際交流フェスタ」が行われました



10月5日市民プラザホールで、初めての多摩6都の国際交流が行われました。  
多摩地区での外国人は1万2千人超、人口の約1.7%、年ごとに増加しているそうで、80%近くがアジア系の人達です。

ちなみに東久留米市では1,653人全人口の1.4%です。

それぞれのお国の衣装を交換しあっているようです。  
和服も似合っています。



市民レポーター 球歩 (写真は、関係者の了解済みです)



清瀬、東村山、西東京、東久留米の代表による意見交換がありました。

矢張り外国人には「言葉の壁」と「生活習慣の違い」が大きな問題です。

特に災害時の「不安」が切実です。

外国人へのケアについては、行政の

力が最も及びにくい部分ですので、このようなボランティア活動は貴重です。

最近では、個別の活動を超えて広域の連携の兆しが出ています、今回の交流をきっかけにますます横の連携を強めよう！との意見が共通に述べられました。



今回は、東久留米国際友好クラブ設立20周年記念も兼ねています。

大谷代表から葉山さんにバトンは繋がれ.....

現在は青木さんがクラブ代表です、その間は森戸さんが文字通りの支えです。

パーティも盛り上がりました。

もっともっと日本に、多摩地区に馴染んで、皆んな一緒に楽しい街づくりの主体となりましょう！！

